

# モジャコ情報 (平成16年第2回調査結果)

調査期間：平成16年4月6～11日  
 調査船：おおすみ 63t  
 調査海域：西薩，南薩，屋久島，種子島，大隅

鹿児島県水産技術開発センター  
 平成16年4月12日発行

## 1【海況】・・・“平年並み”から“かなり高め”

- ・ 黒潮北縁域は平瀬の南10マイルにあり(4月6日現在)，離岸傾向にある。
- ・ 定期船による観測では(4月6日現在)，黒潮流域で23.38 (平年並み)，薩南海域で20.25 (平年並み)，西薩海域で19.30 (かなり高め)であった。  
 1 平年値は，昭和56年から平成12年までの平均値。

## 2【調査結果】

### (1) 流れ藻の分布・・・昨年同期に比べ非常に少ない

- ・ 流れ藻の視認個数は合計354個であり，10マイル当たり7.2個で，昨年同期(33.0個/10マイル)に比べて非常に少ない。また，平年同期(9.4個/10マイル)に比べてやや少ない。
- ・ 採取した流れ藻重量は1.0～22.2kg(平均9.3kg)で，昨年同期(1.9～31.2kg 平均8.5kg)に比べてやや大型の藻である。
- ・ 甌西・甌南・屋久島南の海域で流れ藻が多い。

### (2) モジャコの付着状況・・・昨年同期に比べ非常に多い

- ・ 採取した流れ藻は16個であり，流れ藻1kg当たりの付着尾数は21.2尾で，昨年同期(1.6尾)に比べ非常に多い。また，平年同期(7.2尾)に比べ非常に多い。
- ・ 草垣東で166.0尾(1藻当たり1,035尾)と付着が多い藻があった。
- ・ カンパチ・メバル・メジナ・マアジの付着が多い。

### (3) モジャコの大きさ・・・昨年同期に比べかなり小型

- ・ 採捕したモジャコの全長は平均58.5mm(範囲：15～119mm，モード：50～54mm)であり，昨年同期(73.3mm)に比べてかなり小型である。また，平年同期(48.8mm)に比べてやや大型である。  
 2 平年とは昭和61年から平成15年までの4月の平均値。

表1 海況及びモジャコの付着状況(4月上旬)

調査項目	海 域	平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平年(S61～H14)
流れ藻視認個数 (10マイル当たり)	大隅	2.7	2.9	37.9	14.6	1.4	5.6
	種子島	1.4	73.7	185.0	0.0	54.8	31.4
	屋久島	7.9	62.1	78.6	0.6	10.5	15.3
	南薩	3.5	7.9	95.2	6.7	9.9	9.9
	西薩	17.9	7.2	75.2	12.0	7.0	9.0
	平均(全海域)	7.2	33.0	91.3	5.1	15.2	9.4
流れ藻1kg当たり のモジャコ付着尾数	大隅	13.6	0.0	2.6	16.8	3.8	7.6
	種子島	57.8	3.7	5.3		15.0	8.0
	屋久島	8.9	1.6	1.6	23.0	38.0	17.2
	南薩	35.5	0.7	1.2	1.6	6.3	3.7
	西薩	2.8	0.0	0.3	1.6	0.3	1.7
	平均(全海域)	21.2	1.6	2.0	5.9	11.9	7.2
モジャコ平均全長 (mm)	大隅	70.1	-	77.7	51.8	60.3	49.0
	種子島	67.6	83.9	81.0		64.2	69.6
	屋久島	52.0	61.2	69.6	42.1	63.1	50.6
	南薩	53.9	51.0	58.8	33.1	51.1	47.9
	西薩	54.6	57.0	50.2	31.5	46.0	44.0
	平均(全海域)	58.5	73.3	73.6	42.7	62.3	48.8
定期船観測による 各海域の4月上旬 平均水温( )	黒潮流域	23.3	23.4	24.0	23.7	23.1	23.1
	薩南海域	20.5	20.2	20.2	21.3	19.8	20.3
	西薩海域	19.4	16.3	17.2	17.6	16.6	17.7

3 空欄は流れ藻を採取できなかった又はモジャコが付着していなかったことによる欠測。

4 定期船観測による各海域の平均水温( )の平年値は，S56～H12の平均である。